

2023年5月27日発行 第10号

> 大きいと思っております。現在立ち上 回る視聴数を記録し、R効果は非常に

早稲田東京三

立ち上げたところ、会員数を大きく上

会長挨拶

国立稲門会会長 扇田 正俊



年もよろしくお願 様お元気でいらっ しゃいますか。本 国立稲門会の皆

回第10号の刊行となりました。 たが、平成二十八年の第1号以来、今 の影響などで一時ブランクもありまし 国立稲門会会報「絆」は途中コロナ い致します。

ヤンネル」としてYou Me チャンネルを 親子の「ウクライナを知る講演会」等 幹事会を続けながら、「」述くにたち」 念致しました。こうした中でこのによる を行いました。中でも「国立稲門会子 クライナのウリアナさん&ヤンナさん の3時間耐久マラソンへの参加や、ウ 会開催や国立市民まつりへの参加を断 昨年も新型コロナを懸念し対面の総

> げた3本のYou W は「国立稲門会ホー り、懇親会は行わず時間を短くして対 航立川 東京にてコロナ感染対策をと 施、支部大会は9月4日(日)ホテル日 が、会長会は7月2日(日)に ²⁰⁰で実 門会が担当致しました。東京三多摩支 面で行いました。 部の主な行事は会長会と支部大会です ムページ」で閲覧できます。 主幹稲門会として立川稲門会と国立稲 昨年度の東京三多摩支部の運営は、

を超える時もあり心配しましたが、当 開催までにコロナの感染者が4万人



雄会長の開会の辞で始まり、第1部は 参加を頂き、ありがとうございました。 ふれました。国立稲門会からは20名の 予想を越える20名以上の参加者であ 日は3年ぶりの大会とのこともあり、 活動報告がありました。 東京三多摩支部・原田宜昭事務局長の て着々と布石を打たれているお話と、 田中愛治総長から、WASEDA VISION 150 構想を中心に早稲田大学の未来に向け 三多摩支部長の立川稲門会・小林和

田ラグビーが2年連続日本一を獲得し の演奏とヴォーカル。引き続き、早稲 OB バンドによるスタンダードジャズ みさんの司会でモダンジャズ研究会 第2部は国立稲門会幹事・石井めぐ

> 祥についてのお話。さらに早稲田大学 林正幸さん、そのお友達の米国人のノ た時のフルバックで早稲田大学ラグビ 遂げる事ができてホッとしました。 国 立川稲門会さんとご一緒に何とか成し 部のメインイベントである支部大会を 会の辞で終了となりました。三多摩支 最後に副支部長を仰せつかった私の閉 ったりは出来ませんでしたが、久々の 校歌斉唱、肩を組んだり声を出して歌 応援部による元気なアトラクションと におけるラグビーやその他スポーツ発 国人の Galbraith さん3人による日本 ンフィクションライターMaryさん、英 「都の西北」に大いに盛り上がりました。 ―部監督も勤めた国立稲門会会員の小



謝申し上げます。 そして立川稲門会の皆様には改めて感 立稲門会幹事の皆様、ご苦労様でした。

寒さにじっと耐えていましたが春の暖 数も増えました。 ら育てたパンジーを植えました。冬の の周りに昨年末夏の草花に続いて種か ており幹廻りも一回り大きく今年は花 ればと思います。記念桜も順調に育っ かさとともに元気に咲いてきました。 そばを通られた時には是非ご覧頂け 4年前に植樹した4周年記念の桜

ウクライナより愛をこめて 平野

2月24日、ロシアはウクライナに侵

ことは今でも大切な思い出である。帰 見たもの、出会った人たち、体験した とチョルノーブリ原発を訪れ、そこで たいと願ってやまなかった。 禍が落ち着いたらウクライナに再訪し 国後、一橋大学に留学していたウクラ 日間の駆け足観光であったが、キーウ 後ロシアには何度か足を運び、コロナ イナの方からロシア語を習った。その イナを訪問している。 ウクライナは三 ケ月にわたり周遊し、その際にウクラ 私は五年半ほど前にロシア近辺を

悲しいという言葉だけでは表せ切れな い気持ちでいっぱいだった。 が戦争をすることになってしまった。 そんな大好きなウクライナとロシア そう塞ぎ込んでいた8月、当会の吉

> られたのはウリアナさん。一橋大学の された方が国立の公民館で行った講演 での開催に大賛成した。 留学生として日本に何年もいらっしゃ に参加され、是非当会でも開催できな いる。私はこの話を聞き、国立稲門会 いかとの提案があった。避難されてこ 田会員が、ウクライナから日本に避難 った娘のヤンナさんと一緒に暮らして

てであったと思う。そのようにスキル 会」はコロナ蔓延前まで何度か開催を のりは険しく、かなりの紆余曲折あっ が無い状態だったので、開催までの道 演会の主催は、国立稲門会として初め していたが、いわば「外部講師」を招 き出した。会員が発表を行う「蘊蓄の トチームが結成され、開催に向けて動 た。先方の承諾、日程の確定、会場の いて広く一般の方の参加も想定した講 イを想定した会場の選定、ウクライナ を並べると簡単であるが、キャパシテ その後、講演会のためのプロジェク 近隣稲門会への周知など、単語

イアウトや流れなどを確認した 場の下見を一緒に行い当日のレ としてお二人とお会いした。会 要もあり、相当の苦労を要した。 それも関係者の予定を鑑みる必 情勢を鑑みた適切な時期の検討 後、ブランコ通りの喫茶店「ロ 諸々固まった頃、打ち合わせ

> 私事にはなるが、先述のロシア語を教 た。縁とは数奇なものである。 中で、ヤンナさんが小学生の頃から日 はロシア語で「故郷」というのは知っ 方とお知り合いだったことなどを知っ えてくれていたウクライナの留学生の て早稲田大学が第一志望であったこと 本に興味があったことや、留学先とし いう意味もあるらしい。お話していく ていたが、ウクライナ語で「家族」と ージナ茶房」に移動した。ロージナと



嬉しかった。それだけ、ウクライナへ 画であったこともあり、当初集客につ 述のように当会としてほぼ初めての企 の関心が高いことも実感した。 方々にお越しいただいたことはとても いてはかなり覚悟していたが、大勢の くなってしまうほど満員になった。前 当日、定員60人の会場は席が足りな

いを話した。 影した写真を見せながら、「戦争という ということを知ってほしい」という想 介するパートを受け持った。現地で撮 冒頭でお二人とウクライナについて紹 であるが、こんなにも魅力がある国だ イメージの付いてしまったウクライナ 私はウクライナに渡航した経験から

がパワーポイントをめくりながらウク 魅力がたくさん詰まったものになって だ。お二人は白地に花の模様が彩るウ ライナについてお話しする形式で進ん いた。全て記載することは紙面の都合 クライナの伝統衣装に身を包んでいた。 講演は、日本語が流暢なヤンナさん 1時間ほどの講演は、 ウクライナの

> が、紹介したい。 上できないが、本当に簡単にではある

- ポリの緯度がほぼ同じであること。 ・稚内と、ウクライナ南端のセバスト
- とし、多彩な料理を楽しんでいること。 ・ウクライナ発祥のボルシチをはじめ
- あること の聖ソフィア大聖堂には千年の歴史が ・各地に世界遺産があり、特にキーウ
- そうだ)。 上がったこと(キーウ国立大学はタラ けず、ウクライナの誇りのために立ち シェフチェンコは度重なる弾圧にも負 ス=シェフチェンコ大学の別名もある ・詩人や画家として活躍したタラス=
- ・京都とキーウが姉妹都市であり、キ



一ウには京都公園があること。

こ と。 一があり、日本との交流が盛んである ・キーウにはウクライナ・日本センタ

等の活動を行っていること。 という慈善団体を通じて、義足の製作 ・お二人はオシャヤニ・スビトゥロム

曲名は「ウクライナは滅びず」。重厚な ライナの歌を披露された。また、「ふる ではないだろうか。 ナの未来に、皆が思いを馳せていたの らも魅力のたくさん詰まったウクライ 旋律とともに、困難な状況にありなが 合わせてウクライナ国歌が歌われた。 さと」を日本語で歌ってくだった。 お話の随所で、ウリアナさんがウク 最後、当会の鈴木会員のフルートに

> と言ってもいいのではないだろうか。 会の主催は初めてであったが、大成功 友の方が参加してくださった。重ね重 本当にありがとうございました。そし いただいた皆様、国立稲門会の皆様、 貢献を一層進められればと思う。 これを機に、会員間の親睦や地域への ね、当会としてここまでの規模の講演 て、ウクライナに平和な日が訪れます ウクライナに愛をこめて! ウリアナさん、ヤンナさん、ご来場



本講演会には、遠くからも多くの校





ウクライナを知る講演会・後記 ・ 変記

第3条(目的)には「本会は会員の親 なか難しい面もありますが「地域ひい そして3つ目にあるべき目的は、なか 取られていらっしゃいませんか?(笑) るべき目的は申し上げるまでもなく ないと私は考えています。2つ目にあ りませんが、目的は本来それだけでは は大切な目的であることに変わりはあ 睦を図ることを目的とし(以下略)」と ばしる平野幹事の寄稿をお読みになっ たいとかねがね考えていたものの、 貢献」をいつか何らかの形で具現化し 校友会からの寄付のお願いをよく受け 上げて恐縮ですが、国立稲門会会則の た後に、いきなり!堅苦しい事を申し ては社会への貢献」でしょう。 しか謳われていません。「会員の親睦 「母校への支援」です。会員の皆様も、 私は、この「地域ひいては社会への ウクライナに対する熱い思いがほと

ライナを知る講演会の開催に対して支 れましたが、このうちの10万円がウク 申請と審査を経て毎年度支給されてお この場をお借りしてお詫び申し上げま 会の開催に要した経費を全て賄う事が ります。22年度も1月10日に申請し、 ら国立稲門会には組織強化補助費が、 れた方には至らなかった点について、 での長く険しい(?)道のりは、平野 できました。 給されたものであり、お蔭様で同講演 同月20日に総額25万2千円が支給さ す。なおご存じの通り、校友会本部か めませんでしたので、講演会へ参加さ ますが、正直申して準備不足の感は否 幹事の寄稿でお分かりになったと思い その日から講演会の開催日へ至るま

ースで、年末年始に相次いだロシア軍さて、今年の新年早々NHKのニュ

話していました。

とはありません。」と毅然とした口調でだけ攻撃されようとも教育を止めるこ攻撃するのは犯罪です。私たちはどれ攻撃するのは犯罪です。私たちはどれ

美しいウクライナ

<mark>ウクライナを知る講演会</mark>

年ほどかかる見込みで、大学は講義を 学生寮など合わせて21の建物が被害 があき、近くにあるフェンスがなぎ倒 パス内には幅5m・深さ数十cmの穴 さんの母校であります。大学のキャン その大学こそ、講演して頂いたヤンナ せざるを得なくなったとの事です。 オンラインに切り替えるなどの対応を より全員が避難していたため怪我人は を受け、当時大学にいた複数の職員と ガラス窓はほとんどが割れて、校舎や されました。また、周辺にある建物の けたという報道がありましたが、実は いませんでしたが、施設の復旧には半 寮にいた約50名の学生は防空警報に ― ウにある国立大学が大きな被害を受 による攻撃によりウクライナの首都キ

大学院の修士課程で学ぶ男子学生はインタビューで「大学への攻撃はひどインタビューで「大学への攻撃はひどれでも大学で学び続けることを恐れてれでも大学で学び続けることを恐れてはいません。」と冷静な面持ちで話していました。画面越しに彼の姿を眺めていました。画面越しに彼の姿を眺めている間に、私の脳裏には昨年の早稲田いる間に、私の脳裏には昨年の早稲田いる間に、私の脳裏には昨年の早稲田いる間に、私の脳裏には昨年の早稲田いる間に、私の脳裏には昨年の早稲田いる間に、私の脳裏には昨年の早稲田いる間に、私の脳裏には昨年の早稲田いる間に、私の脳裏には昨年の学生諸君が生き生きとして元気落差に愕然とした事を今でもよく覚えています。かたや副学長は「国の未来

4

興に向けて持てる力を存分に発揮でき る日が来ますよう、心からお祈り申し る日が来ますよう、ヤンナさんが日本 ますが、ウクライナの勝利を以て一日 から既に1年以上が経ち、戦局が新た 頃は、ロシア・ウクライナ戦争の開戦 上げます で学んだことを活かしつつ、祖国の復 んが祖国で再び平穏無事な生活を送れ も早くこの戦争が終わり、ウリアナさ な展開を迎えているものと危惧いたし 本号が皆様のお手元へお届けできる

同好会の紹介

副会長 純

・ゴルフ会

門会会員の積極的な参加を期待します。 は5名、12月は5名、 2月は4名が参加しています。写真を とジョイントで行っています。国立稲 たため、国分寺稲門会、国立早慶対抗 ・一木会(懇親会) 国立稲門会のメンバーが減少してき 6月は7名、7月は11名、 1月は4名、 11 月

・カラオケ会

参照してください。

コロナ感染中につき、現在休止中で

いた。そういうことで、言ってみると た、その中に何らかの資格で毛沢東が

スポーツ観戦

タ等が対象です。 ラグビー、野球、 箱根駅伝、 レガッ

映画でオペラを楽しむ会

騎士」「チャンピオン」「ドン・ジョヴ ングリン」「ファルスタッフ」「ばらの あう時間たち」「フェドーラ」「ローエ ラを映画館(MOVIX 昭島)で楽しめ ます。今年のラインアップは、「めぐり アンニ」「魔笛」です。迫力があります ヨーク・メトロポリタン歌劇場のオペ MI ライブビューイング、ニュー



・クラシック音楽鑑賞会

清瀬音楽鑑賞倶楽部は、キーパーソ

副会長 小野沢 純

(1) 大隈重信の遺訓

中で印象に残った言葉を記します。

講演を聞かせていただきました。 その

のでした。

経て日本に到着した。他方はヨーロッ チグリス・ユーフラテス河畔から発祥 明の調和」理論でした。人類の文明は べし」という、大号令が発せられてい 史」結びの言葉で「日本、かく生きる を横断してさらに太平洋を渡り、日本 パを経て大西洋を渡り、アメリカ大陸 をたどり、インド、中国、朝鮮半島を をなすのは、大隈重信特有の「東西文 たのです。ここに示された所信の根底 にたどりついた。 東西に分かれて進ん し、一方は東に向かってシルクロード 明治44年に発行された「開国50

ンが亡くなりましたので終了となりま

した。

ありがとうございました

やみ申し上げます。 に94歳で逝去されました。謹んでお悔 三月会及び武蔵野稲門会総会で数回ご ある西原春夫先生が、 ※ 年1月26日 早稲田大学元総長 (第12代総長)で 西原先生には쨊(早稲田電気工学会)

(2) 早稲田大学と中国

集めて密かに社会主義の講読会をやっ すべきなのは、後に中国共産党の創立 和理論を唱えていたところにあると考 中国との関係が最も深く、とくに中国 大学の教授になり、いろいろな若手を 者となる李大釗です。 彼は帰国後北京 入れてきました。とくにその中で特筆 えられます。中国の留学生を多く受け は、創立者の大隈重信が東西文明の調 大学の一つです。その一番大きな根拠 の革命史にもっとも直接的に関わった 早稲田大学は、日本の大学の中でも

学ではそれが建学の精神の一つになり 性の影響を受けながら発展を遂げ、そ という一節に込められることになった 立てる我らが行く手は窮まり知らず」 校歌の中に「東西古今の文化の潮一つ 持論でした。大隈の創立した早稲田大 使命を持っている、というのが大隈の 両者の長所を国の発展に生かすという とをよく理解し、その調和を図りつつ 生きる日本人は、西洋文明と東洋文明 かり、合流した。したがって、そこに れがまさに日本で「ガチャン」とぶつ だ人類の文明は、それぞれの地域の特 に渦巻く大島国の大なる使命を担いて

中国の識者の間には、 評価の核心にあるということは疑いな それが中国民衆の早稲田大学に対する れているのです。これは大変に強烈で の学んだ大学だというレッテルが貼ら いであろうと思います。 す。理由はそれだけではないけれども、 うのは毛沢東に社会主義を教えた先生 早稲田大学とい

(3) 武力によらない積極的平和貢献

|受け入れられるに違いありません。た すべきだと思うのです。そこで、日本 のために不可欠な「照れくさくない」 あることは、感じます。そこで、その という態度をとっても、国際社会から が攻めてこないよう努力する国である。 であることを国是とすることを提案し は「武力に寄らない積極的平和国家」 看板を掲げることは可能だし、それは たいして「照れくさい」という側面が いう看板を掲げることは、国際社会に だ、現実問題として、「日本は敵が攻め います。そのような国だからこそ、「敵 力を積み重ね、「平和国家である」とい も、それにもかかわらず戦後70数年努 てこないように努力する国である」と う評価を国際社会から頂いていると思 歩手前の、実質的にはその目的達成 日本は不幸な過去を体験したけれど

会員ページが変わりました 石井 めぐみ



門会の Facebook ページに繋がります。 ています。 なお、会員以外の書き込みはお断りし ベントなどの告知を行ってください。 今後は、この Facebook ページを活用 た。クリックしていただくと、国立稲 のページ」というメニューができまし して会員のみなさまの近況報告や、イ ホームページ担当からのお知らせで 国立稲門会ホームページに「会員

> https://www.facebook.com/kunitachi 管理人として運営を行う予定です。 た、この機会に Facebook に登録をし 「国立稲門会」Facebook ページ SNでの交流も図りましょう。

ま

の受賞作品は、

国立市内を巡回展示し

ているのでぜひご覧ください。

早稲田の校友が受賞しました 幹事 石井 めぐみ

tomon

した。 立市在住の山本圭太さんが、「国立市 観光まちづくり協会賞」を受賞されま で、早稲田大学創造理工学部出身で国 第9回「くにたち写真コンテスト」

品です。「くにたち写真コンテスト」 立の美しい秋の風景を捉えた見事な作 作品タイトルは『黄金のまち』。国



「コロナに感染して」

中村

だろうか?私は昨年十一月、バルカン れほど換気が悪く密閉していた。その こで一時間、強い体臭を意識した。そ コロナ対策のマスクはしていない。そ ていた。換気なし。コソボの人達は皆 百人近いロマ系コソボ人が集会を開い 立ち会っていた。地下室の狭い部屋に 半島コソボ共和国で、コソボ公共放送 局(m)の番組制作指導で取材現場に 皆さんは体臭を意識したことがある

|染源はどう見てもその取材現場しか思 症だと診断され、咳止めや去痰薬など の状態が続くのかと思った。早々、地 月半ばに帰国したから、年末年始もこ 多くあり、中には数ヶ月と書いてある ると確かに「コロナ後遺症」の記事が 痰には色が付いていた。ネットで調べ めた。体温は平熱だったにも拘わらず、 だった。帰国後三日目に咳と痰が出始 間して帰国した。問題は、その後遺症 いつかない。ホテルの部屋で自主隔離 元のかかりつけ医を受診。コロナ後潰 ものもあった。これには参った。十一 昼夜を問わず咳き込むのは辛かった。 して、一週間後に陰性に。その後一週 して、抗原検査で陽性を確認した。感

沢山の薬を処方して貰った。それを服



ばず、コロナ後遺症、恐るべし! 改め とって、換気の悪い密閉空間には立ち にいるか分からず、コロナ対策を十分 同じだと言うことも聞くが、私の経験 入らないこと。コロナ罹患は言うに及 からして、それは大違いだ。後遺症は 回復した。コロナはインフルエンザと 用すること一ヶ月。なんとか年末には て、稲門各位にお伝えします 人によってその程度の違いはあるもの 油断禁物。コロナウィルスは何処

会費の有効活用

羽島

っしゃいますでしょうか。 会員の皆様お元気にお過ごしでいら

たが、残念ながら「福原信三賞」に 3回の「日本写真会展」がありまし

動も制限を余儀なくされ、忸怩たる想 いで過ごして参りました。そんな中、 て、三年となります。この間当会の活 新型コロナウイルスが日本に到来し

等にてかかった経費総額約九万円は、 参加いただけますと幸いです。 類になるようですし、今後は当会もコ 新型コロナウイルスも五月には五類分 回の支援の一端を担っておられます。 当会会員の皆様からお預かりしており 団体に寄付させていただきました。こ ライナ国内にて活動しておられる支援 りした分含め七万六千円全額を、ウク 満席となりました。参加者の方々から の方のご尽力もいただきながら各方面 ることはないかという主旨の下、会員 ライナを知る講演会」を開催いたしま 令和四年十一月に当会主催にて、「ウク われますので、引き続き当会の活動に 加しておられなかった会員の方々も合 ものであると感じております。当日参 た。今回のこの活動は、大変意義深い ます会費より拠出させていただきまし の講演会会場費・講師料・資料印刷代 にお声がけし、六五名の参加で会場は いる現実に対して当会として何かでき の事をよく知っていただき、今起きて いただいた講演会費及び加えてお預か した。この講演会を通してウクライナ ロナ前の活動に徐々に戻していくと思

日から四日後、私は 三十九度の熱を出

紹介で日本写真会に入会しました。 ートとしての写真は初めての経験で 写真撮影は好きでしたが、所謂ア 私は六七歳の時に池田多門さんの

写真会展」での最優秀作品「福原信 三賞」です。もう一つは「自由作品」 各賞が沢山用意されていますが、同 会員で、指導的立場になります。一 され、7年目に同人に推挙されまし 影に行きますが、毎回必ず良い写真 とアートとしての写真が理解できる 価された同人に送られる「最優秀同 の部で、年間の例会を通して一番評 般会員と同友には年間に表彰される た。同人は会では一番上のランクの んのでそれを求めて各地を訪ねます。 かなければ絶対良い写真は撮れませ が撮れるわけではありませんが、行 ようになりました。色々な場所に撮 人賞」です。私は同人になってから 人には二つだけしか賞がありません。 入会3年目で会員から同友に推挙 入会して2年くらい経って、やっ 一つは毎年一回開催される「日本

もあり、令和4年の一年間で評価さ ということになります。紙面の都合 得した同人票の総計が一番多い同人 同人賞」の評価の基準は一年間で獲 て受賞することがでました。「最優秀 いては令和3年と4年の2年連続し は縁がありません。 れた作品を3点紹介させていただき もう一つの「最優秀同人賞」につ

令和3年十二月作品「**一番星**」



です。夕方になって、西の空に金星 全くの無風であったため、池に浮か が輝いている写真ですので題名を 「一番星」としました。ポイントは 晴海埠頭にある公園で撮った写真

> 終割りましたが、公園はまだありま りぎりの位置にして写したため、池 すので、訪ねてください。 重なって池に写っている遠い橋とビ の端が遠景のレインボーブリッジと ていることと、カメラを池の水面ぎ ッジが出来て大きな船が通れなくな に見えることです。レインボーブリ ルが、まるで海に反射しているよう ったため、晴海埠頭は埠頭の役割は

令和4年4月作品「恐竜の館」



ましたが、ンが痛い承継のエスカレ ある「恐竜博物館」で撮影しました。 になった作品です。島根県勝山市に インターネットで調べてから訪問し これは月次で行われる例会で一席

ぶモニュメントがきれいに池に写っ と思う構造でした。 から上を狙って写した作品です。真 の一番下の地下3階まで行き、そこ を移動しましたが、この写真は建物 ーターがあり、写真を撮ってみたい どのアングルがいいか色々な場所

写っています。私の好きなシンメト リーの作品になっています。 り口になります。それを囲むように ん中の白い丸が天窓で、その下が入 階、地下一階、地下二階の回廊が

令和4年4月作品「夕映え」



れ、水映りを撮っています。この写 日にはたくさんの人が訪れ、それぞ 言われ、干潮とサンセットが重なる で撮影しました。 日本のウユニ湖と 香川県の三豊市にある「父母が浜

> がラッキーでした。 撮らせていただきました。赤い夕景 真は被写体の方の動画を撮っている 人がいましたので、その方の傍らで、

新入会員

大竹 寿美 1985 年 第2文学部美術卒

訃報

十松 2022年6月14日逝去 勇 1955 年 享年 90 歳 政治経済学部

編集後記

たいと思っております。皆様のご協力 をよろしくお願いいたします。 隣の稲門会も参加して頂いて、再開し また国立稲門会のお世話になります。 以前開催していた「国立稲美展」を近 したが、国立に戻ってきましたので、 私は仕事の都合で新潟に行っていま

だ、わせだ、わせだ」 もとどろに、我らが母校の名をばたた 同じき理想の光、いざ声そろへて、空 へん。わせだ、、わせだ、わせだ、わせ 「集まり散じて人は変われど、仰は

レーズではないでしょうか。 早稲田マン、皆が好きな、校歌のフ